

新型コロナウイルス感染症 最新情報

●福島県では、新規陽性者数が減少傾向にあることから、「福島県医療非常事態宣言」及び「福島県感染拡大警報強化版」を9月19日で終了し、**基本対策に移行**しました。なお、現在も新規陽性者数は第6波のピークを大幅に上回る状況であるため、引き続き、感染リスクの高い行動を控え、感染対策を継続していくことが重要です。

●自宅療養期間について

- 有症状の方**→症状が出た日の**翌日から7日間**です。基本的には8日目から療養解除となります。
※ただし、**症状軽快(解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸苦症状が改善傾向)が7日以下**となった場合は、**症状が軽快した日の翌日(24時間経過)**まで延長となります。
- 無症状の方**→陽性が確定した時の**検体採取日を「0日目」として、7日間**です。
5日目に、検査キットによる検査(自費での検査)で陰性を確認した場合は、6日目に解除を可能とします。
※また、**検体採取時に無症状でも、その後症状が出た場合は、症状が出た日の翌日から7日間**が経過する日まで療養が延長になります。

☆なお、**有症状者は10日間・無症状者は7日間**が経過するまでは、検温などご自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、高齢者等ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクの着用などの感染対策の徹底をお願いします！

参考：福島県ホームページ 新型コロナウイルス感染症関連情報ポータル、厚生労働省ホームページ

手足口病が流行っています！！

●手足口病ってなに？

手足口病とは、主として乳幼児にみられる**手、足、下肢、口腔内、口唇に小水疱が生ずる伝染性のウイルス感染症**のことをいいます。

●症状はどんなものがある？

症状として、**発熱、食欲不振、咽頭痛**から始まり、**発熱から2日くらい過ぎた頃から、手掌、足底にやや紅暈を伴う小水疱が多発し、舌や口内粘膜に浅いびらんアфта**を生じます。



●かかる前に予防しましょう！

手足口病には有効なワクチンはなく、また、発病を予防できる薬もありません。経過観察を含め、症状に応じた治療となります。

一般的な感染対策は、**接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。タオルの共用はせず、手洗いは流水と石けんで十分に行いましょう！**

参考：福島県感染症情報センター 感染症発生動向調査 感染症週報 2022年34週、厚生労働省 ホームページ(mhlw.go.jp)



県北地域で流行が続いています！

ヘルパンギーナにご注意を・・・



ヘルパンギーナとは、**コクサッキーウイルス**などにより、**38～40度の発熱**で発症し、同時に喉が痛む病気です。発熱が**1～3日**続き、**食欲不振、全身のだるさ、頭痛**などを起こします。**1～4歳**くらいまでの乳幼児がかかりやすい、夏風邪の代表的な病気のひとつです。急性期には、喉からウイルスが排泄されるため、**咳をしたときのしぶき**により感染します。一般的に経過は良好で、後遺症は残らず、**2～3日以内**に回復します。急性期～回復期（発症後4週間後ごろまで）には、**便からウイルスが排泄**されます。治療は、症状を少し楽にする方法（**対症療法**）が行われます。予防法として、おむつ交換など便を扱ったあとは**手洗い**をきちんとすることと、**洗濯物を日光で乾かす**ことなどがあります。感染対策を徹底していきましょう！

参考：福島県感染症情報センター 感染症動向調査 2022年第36週、国立感染症情報センター

9月24日～9月30日は結核予防習慣です！

●結核とは？

結核とは、結核菌によって主に**肺に炎症を起こす**病気です。痰が絡む・微熱や倦怠感が**2週間以上**続く、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いです。肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。特に、**小児**では症状が現れにくく、全身に及ぶ**重篤な結核**に繋がりやすいため、注意が必要です。

結核菌の混ざった**しぶき**が咳やくしゃみなどと一緒に空気中に飛び散り、周りの人がそれを吸い込むこと（**空気感染**）によりうつります。感染してもすべての人が発病するわけではありません。健康であれば、免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまいます。病気などで**免疫力が落ちると**、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病することがあります。感染しても発病していない人（**潜在性結核感染症**）は、結核の薬を**6ヶ月間飲む**ことで発病を予防できます。

●結核の予防と治療について

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、**予防にはBCG接種が有効**です。市町村からの案内に伴い、**生後5～8ヶ月の間に接種**してください。

高齢者の結核の特徴として、咳や痰などの目立った症状が現れにくいことがあげられます。**65歳以上**の方は、結核の健康診断を受ける義務があります。**年に1回胸部レントゲン**を受けましょう。

健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防に繋がります。また、**適度な運動・十分な睡眠・バランスの良い食事・タバコを吸わない・定期健診を受ける**ことなどを継続し、**早期発見**に努めましょう！

参考：厚生労働省ホームページ、公益財団法人結核予防会



発行日：令和4年9月22日

発行元：福島県県北保健所 医療薬事課 感染症予防チーム

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード